

## 令和 8 年度 学校経営計画書

学校番号	32	学校名	静岡県立清水西高等学校	校長名	山野 良成
------	----	-----	-------------	-----	-------

### 1 スクール・ミッション

文化発信の拠点として発展してきた歴史と伝統を誇る普通科高校として、校訓「清く けだかく 美しく」の理念のもと、自立心と社会性を身につけ、高い志を持って行動する、心豊かで地域の未来を創生するグローバルリーダーの育成を目指す。

### 2 スクールポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、考え学び続ける生徒（探究力）</li> <li>・道徳性、社会性、協働する力を備え、豊かな人間関係を築くことができる生徒（人間関係構築力）</li> <li>・地域の素晴らしさを理解し、未来を創生できる生徒（地域貢献力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルリーダーの育成 総合探究「ともえタイム」</li> <li>・特色あるカリキュラムの構築 1年次からの特進コース 看護医療進学コース</li> <li>・ボランティア活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や諸活動に真剣に取り組んでいる生徒</li> <li>・自らの将来や地域のことを考えている生徒</li> <li>・郷土を愛し地域の看護・医療に関心のある生徒</li> </ul>

### 3 スクールポリシー具現化の柱（重点目標はゴシック体で記載）

#### ア 人間力(知力・体力・心力)の向上

授業や部活動・生徒会活動・地域貢献活動等、あらゆる場面で礼儀正しい挨拶を基本とし、自他を尊重し合い、自らの課題に取り組むことを通して 21 世紀を生き抜く人間力（知力・体力・心力）を育む。

#### イ グローバルリーダーの育成

総合的な探究の時間「ともえタイム」の様々な学びを通して、探究力を身につけ、自己有用感を高め、共生社会を生きる、思いやりと社会性のある人間を育てる。

#### ウ 教員相互及び地域との連携の強化

地域の諸機関・団体・コンソーシアム等と連携を図り、教職員と生徒が一体となり教育活動を推進する。

#### エ 教育環境整備の推進

学習環境の整備・充実に努めるとともに、安全・安心な施設の整備を目指す。

#### オ 各分掌による業務改善の推進

教職員のワークライフバランスを推進し、業務における ICT 活用等の働き方改革に努める。

### 4 本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	知力の向上	グラデュエーション・ポリシーを踏まえ、以下の点を重視して授業づくりを行う。 ・自ら問いを発見し、深く思考する「探究的な学び」を取り入れた授業デザインの推進 (GP「探究力」に対応)	生徒の授業アンケート項目 80%以上  ・「授業の中で、自ら問い（課題）を見つけたり、解決のために深く考えたりする場面があったか」	教務課 進路課 各教科 部活動

ア	知力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア・グループ学習等の対話的な学びを計画的に導入し、多角的な視点を養う指導の実施 (GP「人間関係構築力」に対応)</li> <li>・教科の専門性と社会課題や地域の実情を関連付け、学びの社会的意義を意識させる指導の充実 (GP「地域貢献力」) に対応</li> <li>・理解度や学習進度に応じて生徒が自律的に ICT 端末を活用する、個別最適な学びの促進</li> <li>・教員相互の授業公開・参観期間を設定し、研究授業や事後検討会を組織的に行う。</li> <li>・ベネッセ総合学力テスト・模試・スタディサポートなどの測定ツールを活用し指導改善に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ペアワークやグループ学習を通して、他の生徒と意見を交わし、自分の考えを深めることができたか」</li> <li>・「授業で学んだ内容が、社会の課題や地域の未来にどのように役立つかを考える機会があったか」</li> <li>・「自分の理解度や学習進度に合わせて、タブレット等の端末を効果的に活用して学んでいるか」</li> <li>・教員アンケート</li> </ul> <p>他の教員の授業を年 3 回以上参観した教員 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定ツールの結果を検証し、指導改善に取り組んだ教員 80%以上</li> </ul>	教務課 進路課 各教科 部活動
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業と運動部活動において、基礎体力の保持増進を図り、新体力テストの記録向上と運動や健康に対する意識の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2 年生新体力テスト記録の全種目 6 点以上を取得した生徒の割合が 30%以上</li> <li>・体育やスポーツ及び健康に関する意識の向上を実感する割合 80%以上 (生徒にアンケート実施)</li> </ul>	保健体育科 部活動
	心力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術の授業、文化部活動及び芸術鑑賞等文化的行事を通して、豊かな感性を育み、自己表現力や創造力を伸長させる。</li> <li>・朝読書、ビブリオバトル、読書会、「耳をすませば」、図書委員による推薦本紹介等の読書推進行事を通して、読書習慣を身につける。</li> <li>・清掃活動 (全員清掃、ワックスがけ) を通して主体的に清掃し、教育環境整備に取り組む姿勢と習慣を育成する。</li> <li>・生徒会本部役員等を中心とした活動を通して、生徒自ら品位と規律ある生活習慣 (身装・挨拶・言葉遣い・時間厳守など) の確立を目指す。</li> <li>・交通安全教室・薬学講座の振り返りにより、自らの命を守るとともに、生命の大切さを育む指導をする。</li> <li>・隔月発行の「保健だより」を通して、健康的な生活に対する意識を啓蒙する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート</li> <li>・芸術鑑賞の満足度 85%以上</li> <li>・推薦本を選びビブリオバトルで発表する。</li> <li>・2 か月に 1 冊以上の本を読む。</li> <li>・委員会を中心とした学校全体の取組を実施し、清掃習慣が身についた生徒 70%以上を目指す。</li> <li>・生徒アンケートにより、生活習慣が確立した生徒 70%以上。</li> <li>・礼儀正しい挨拶ができた生徒 75%以上</li> <li>・生徒が自分事として捉え、個人端末の振り返りシートに保存し、振り返りをする。</li> <li>・調査により、朝食摂取率 97%以上。各診療科の治療率を、R 7 年度より 10 ポイント以上上げる (目標：歯科 45%、耳鼻科 55%、尿検査 60%、内科 100%)</li> </ul>	教務課  総務課 (図書)  生徒課

イ	グローバルリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間「ともえタイム」、特別活動の充実を図り、探究力を身につける。</li> <li>・保育体験やボランティア活動（はな金ボランティア等）を通して、自己有用感を高め、思いやりの心やコミュニケーション力を育み地域との繋がりを深める。</li> <li>・生徒会活動・委員会活動を一層活性化して、責任感や生徒の自治意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート「課題発見力、情報収集力、身につけた知識及び技能を活用する力、課題解決力が向上した」生徒 80%以上</li> <li>・生徒アンケートにより、自己有用感、思いやりの心、コミュニケーション力が高まった生徒 70%</li> <li>・生徒アンケート「学校行事に積極的に参加」90%以上</li> <li>・生徒意見に対する検討率 100%</li> </ul>	全分掌 全教科 各部活動
ウ	教職員相互及び地域との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を通して、地域、家庭、企業、行政、関係団体等からの学校運営に対する支援の充実を図る。</li> <li>・学校案内や学校紹介動画の工夫、一日体験入学や学校公開、文化祭等の学校行事、HP等を活用した情報発信により中学生及び保護者へ魅力を発信する。</li> <li>・PTA 会員のスタディサプリ登録等の活用により、教育活動の情報共有を図る。</li> <li>・職員の研修や宣誓書作成、人権感覚チェックシート等を活用し、不祥事の根絶を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動、探究発表会において、委員から生徒への指導助言をいただく機会とする。</li> <li>・一日体験入学、オープンスクールの参加者数が前年度以上</li> <li>・保護者アンケート「学校が情報提供を適切に行っている」70%以上</li> <li>・不祥事根絶及び体罰 0</li> </ul>	管理職 全職員
エ	教育環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心を確保するために施設・設備の維持管理及び充実に努める。</li> <li>・学校生活サポートシート、「教育相談だより」、「こころの健康調査」等の有効活用と教育相談体制の充実により、関係者及び教職員間の情報交換と連携を密にし、早めの支援体制を整える。</li> <li>・学校経営予算を効果的に執行し、教育環境の整備と教育活動の充実を図る。</li> <li>・学校施設の定期点検を確実に実施する。</li> <li>・法令基準に沿った事務処理を行い、執務環境の整備と充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期毎に実施する施設設備点検の不具合改善率 100%</li> <li>・困り感を持つ生徒、支援を必要とする生徒への適切な対応により、欠課不良の生徒に対するチーム支援をする。</li> <li>・予算執行状況を毎月確認し、定期的に予算編成の見直しを行う。</li> <li>・安全・安心な施設の整備のために、法定点検での不備指摘前年比 10%減</li> <li>・検査における文書指示事項なし</li> </ul>	生徒課  事務部
オ	ワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務における ICT 活用や見直しによる効率化を図る。</li> <li>・時間外勤務等が多い職員との管理職面談により業務量のバランス等改善を図る。</li> <li>・完全退庁時間(20時15分)の徹底</li> <li>・夏季休暇の取得促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1分掌1業務改善の実施</li> <li>・勤務時間管理システム毎月の集計後、対象者に面談を実施し、時間外勤務の軽減を図る。</li> <li>・退庁時間遵守の職員 80%以上</li> <li>・夏季休暇取得促進における休暇取得率 90%</li> </ul>	全職員 各分掌

様式第 1 号